

2025（令和7）年度看護学部卒業生・就職先等アンケート実施報告

I. 実施要領

1. 目的

本学の教育カリキュラムの長期的効果を評価し、今後の教育活動等の改善につなげることを目的とし、卒業生及び卒業生が就職している施設の管理者（看護部長ないしは看護部教育担当副部長）から教育成果についてフィードバックを得る。

2. 調査主宰

佐久大学看護学部自己点検評価部会（学部長、学科長、教務委員長、学生委員長）

3. 調査対象

1）佐久大学看護学部卒業生

（1）就職先：卒業時就職先で、過去5年の累計人数上位10位までの施設（計10施設）

（2）卒業時期と人数：上記（1）の施設に就職した卒業生のうち、卒業後1年目（2024年度卒）35名、同3年目（2022年度卒）44名、同5年目（2020年度卒）50名で、合計129名

2）卒業生の就職先の看護管理者

上記の本学部卒業生（1）の就職先10施設の看護管理者10名

4. 調査方法

1）アンケート調査

Google フォームを用いた、無記名自記式のアンケート調査。卒業生及び看護管理者への依頼文書内に QR コードとパスワードを記載し、各自の携帯端末を用いて回答する。回答に要する時間は10分間程度。

2）調査の依頼方法

10施設の看護部宛てにアンケート協力依頼を行い、当該施設に就職した臨床1, 3, 5年目に該当する卒業生の名簿（卒業時点の把握内容）と、看護管理者及び卒業生人数分の依頼文書を郵送した。看護部担当者に、該当する卒業生への文書配付を依頼した。

3）調査時期

協力依頼：2025（令和7）年7月23日（水）依頼文書発送

データ収集期間：2025（令和7）年8月1日（金）～8月29日（金）

5. 調査内容

1) 卒業生への調査内容

- (1) フェイスシート：臨床何年目、所属部署の看護領域
- (2) 大学での学び 学修方法が身についたか・役に立っているか
コミュニケーション力が身についたか・役に立っているか
その他に学生時代の経験で、卒業後に役立ったこと
学生生活の満足度
- (3) 佐久大学へのメッセージ

2) 看護管理者への調査内容

佐久大学卒業生についての全体的な印象、お気づきの点、佐久大学に期待すること

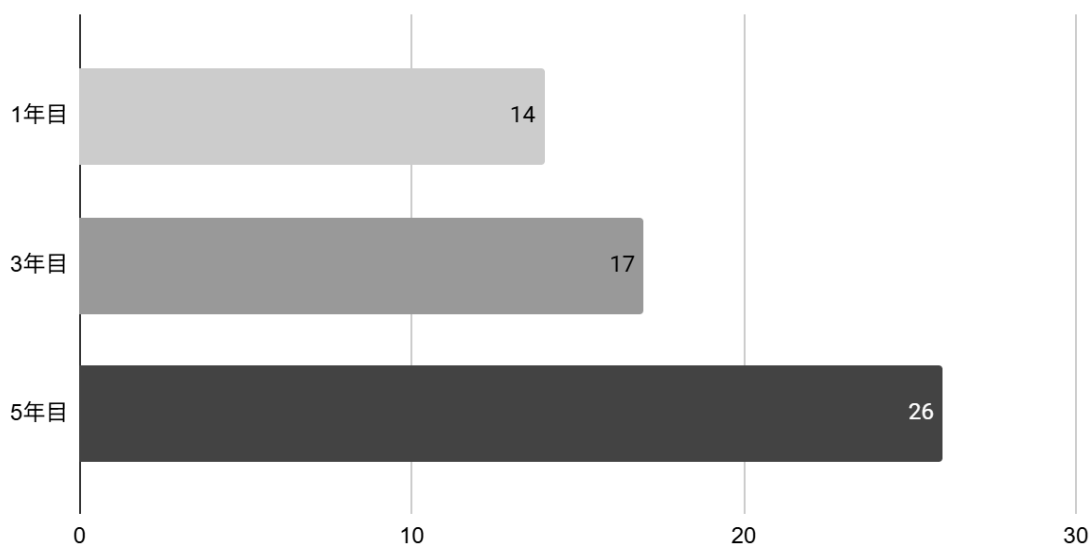
Ⅱ. 調査結果

卒業生への配付は計 129 名で、57 名（44.2%）から回答が得られた。

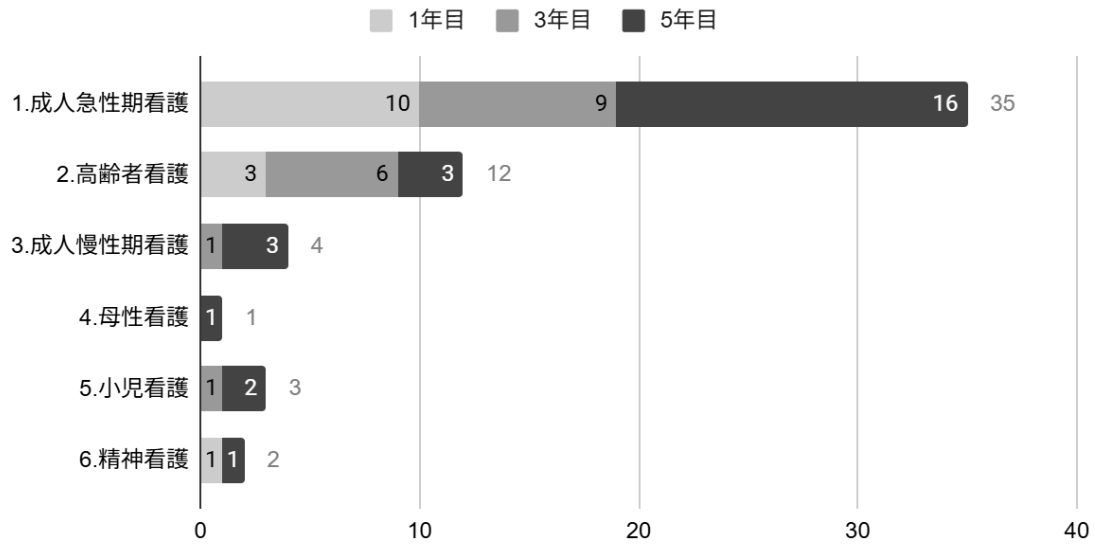
看護管理者への配付は計 10 名で、3 名（30.0%）から回答が得られた。

1. 卒業生の結果

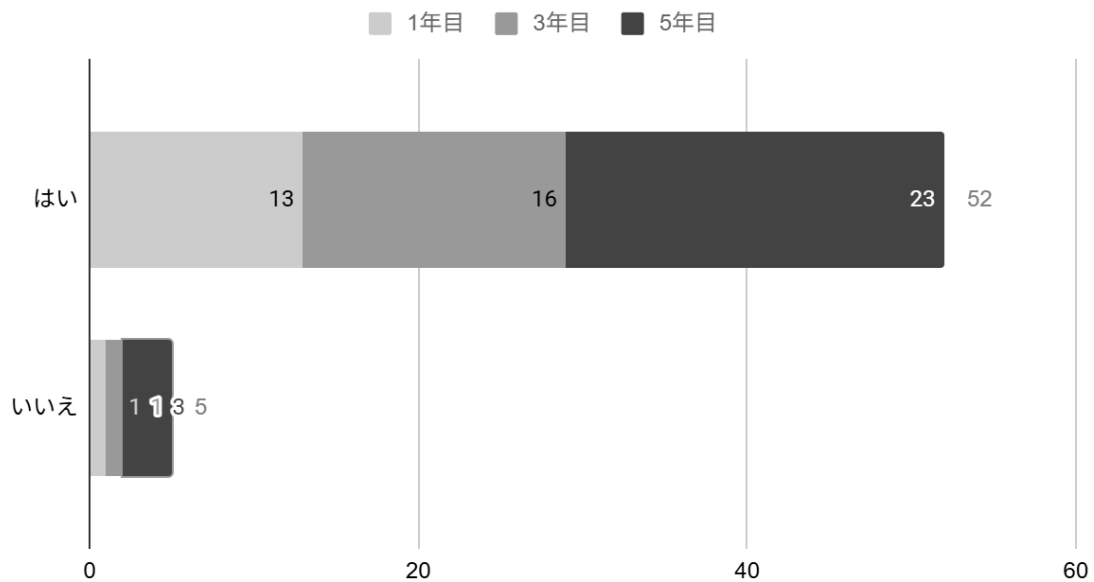
1. あなたの現状について教えてください。佐久大学を卒業後、臨床何年目ですか？



2. あなたの所属部署で行われる看護で、最も多いものを一つお選びください。

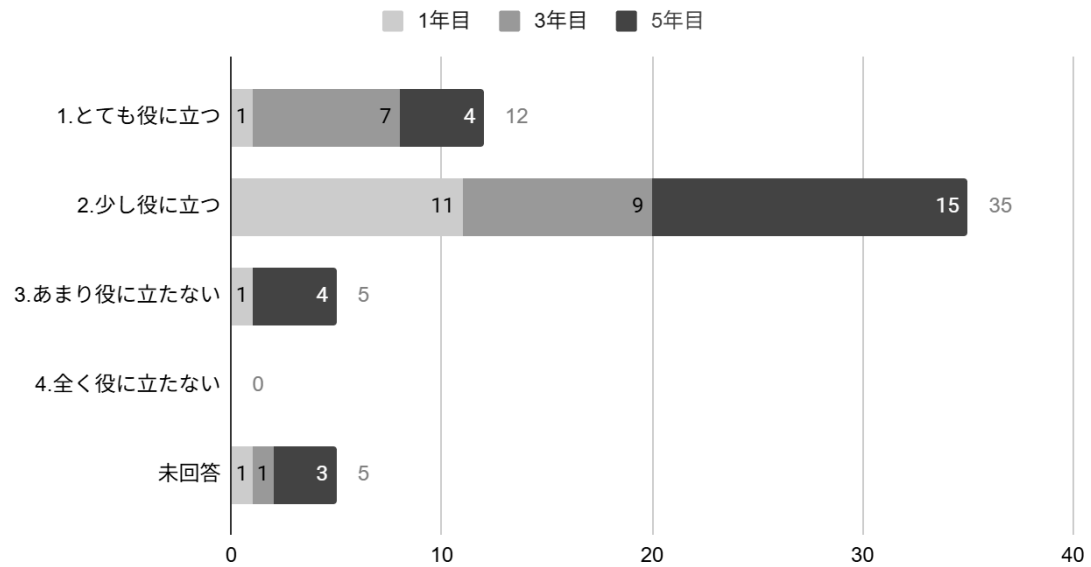


3-1. 学生時代に学修方法が身についたと思いますか？

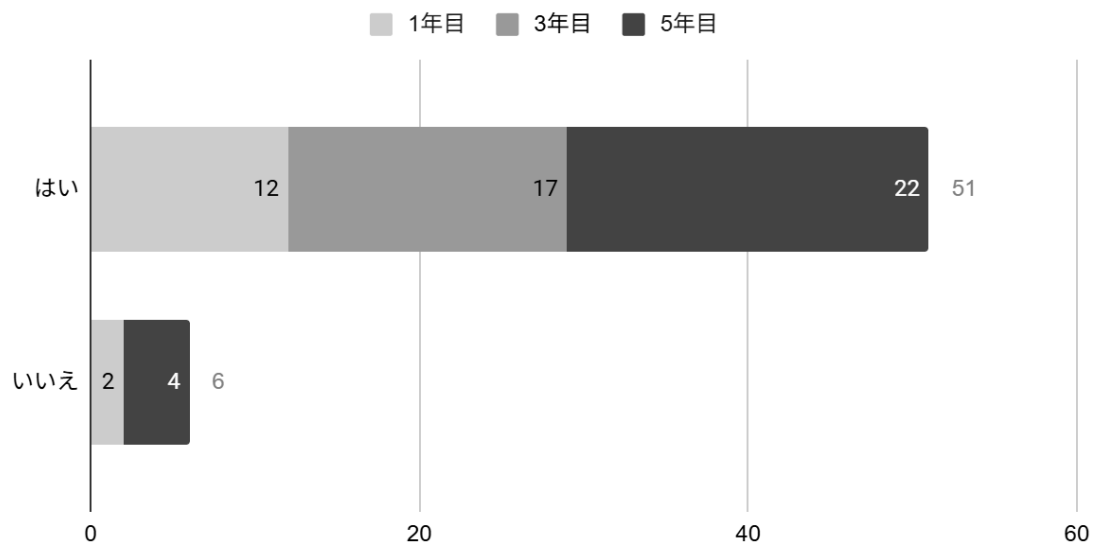


3-2.

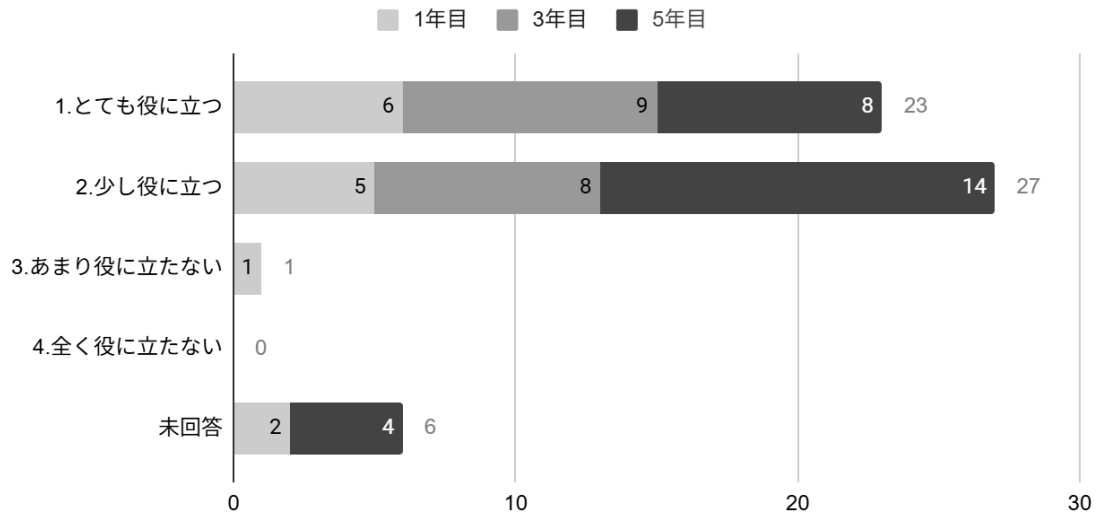
3-1で「はい」の方にお尋ねします。その学修方法は、現在、役に立っていますか？



4-1. 学生時代にコミュニケーション力が身についたと思いますか？



4-2. 4-1で「はい」の方にお尋ねします。そのコミュニケーション力は、現在、役に立っていますか？



5. その他、学生時代の経験で、卒業後に役立ったことを教えてください。（自由記述）

【卒業後1年目】

- 急性期の演習で観察項目をグループごとにあげて観察したり、初回離床を実際にやったりしたことを今の仕事に活かしています。術後合併症も具体的に教えていただいた記憶があるので思い出しながら仕事をしています。
- 友人との繋がり
- 私は現在救急病棟で勤務しており、幅広い疾患を毎日診ています。総合実習では急性期看護を専攻し学び、ドレーンの観察や創部の観察を行いました。今ではその経験が生かされて観察ができています。
- アルバイト。他者とのコミュニケーション能力がついた。
- 実習
- 実習、サークル活動、学友会活動、大学祭実行委員
- 実習等を通して、社会人としてのマナー（挨拶や身だしなみ、言葉遣い等）が身についたことや、学習習慣が在学中に身についたことが、現在も学習を継続させているうえで役立っている。
- 実習中に看護技術を多くやらせてもらっていたので、役立っています。

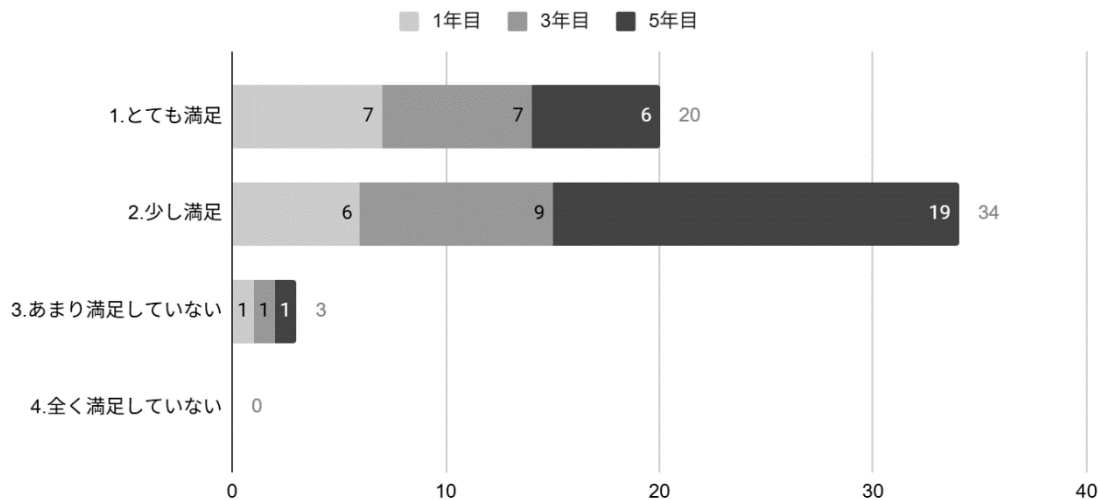
【3年目】

- メールの書き方、論文の探し方と読み解き方などが役立っています。
- 患者さんとの目線の合わせ方
- グループワークなど多くの人と関わる経験は社会に出てからすごく役にたつと思います。
- 仲間とのコミュニケーション
- 学生時代たくさんアルバイトをしていて、厳しい言い方をされることも多かったが精神面が鍛えられ今も厳しい言い方をされても耐えられているのでその経験が役だったと思います。
- 現在行っている看護研究では、文献の探し方や読み方など、大学で学んだ看護研究が大いに役立っていると思います。
- 実習で学んだアセスメント方法が臨床現場でも役に立っている。
- 実習やグループでの演習など

【5年目】

- 自分に合った学習方法 アルバイト 色々な人とのコミュニケーション
- 演習での実技練習
- バイトの経験や上下や先生関係なくたくさんの人と関わる機会を持てたことは、今持っているコミュニケーション能力の土台になったと思います
- 形態機能学
- 継続した学び
- バイトで仕事の効率やコミュニケーション力を培った。
- レポートをたくさん書いてきたので、臨床でサマリーなどを書く際文章が簡潔で分かりやすいと言われる事がある。
- 一つの疾患に対して深く学んだこと

6. 今、学生時代を振り返ると、学生生活の満足度はいかがですか。



7. 最後に、佐久大学へのメッセージをお願いします。(自由記述)

【卒業後1年目】

- 4年間ありがとうございました。学んだことを活かして働くことができています。4、5月にはできることが少なく向いてないのではないかと思います。今はできることも増え少しずつ成長している実感があります。さらに看護師として成長できるように日々頑張っていきます。演習など実際に体験したことは記憶に残りやすく実際の現場でも活かしやすいので、そのような学修を進めてほしいです。
- 4年間お世話になりました。社会人になっても学生時代の思い出を振り返って頑張っていけています。これからも長野県を支える看護師を輩出してください。
- 大変お世話になり、無事に看護師免許証を取得することができました。今後も立派な看護師を育成してください。益々のご活躍をお祈りしております。
- 実際に看護師として働いてみると学生時代よりも1人の患者さんに関わる時間があまり取れなかったり、多重業務をこなすことの大変さを実感し、先輩のように仕事を効率よくこなせるのか？自問自答しながらの毎日を過ごしています。看護師としての責任の重さもありますが、入職して4ヶ月目に入る今、できることも増えてきてだんだんやりがいを感じてきています。先輩方も優しい方ばかりでSNSに流れてくるような御局看護師や嫌味な看護師はそうそういません！実習や試験勉強で大変だと思いますが、たくさん遊んでリフレッシュしつつ、実習や勉学に励んでください。
- 大学生活において忙しくて大変なこともあるかと思いますが、学生のうちにしか出来ないことたくさんあります！息抜き大事です！大学生楽しんでください！
- 日々の授業や実習など、身体的・精神的にもきついことがたくさんあると思いますが、無理せず学生生活を楽しんでください。

- 佐久大学に通ったことで今希望の職場で看護師として働かせていただいています。これから地元で貢献できる看護師の育成頑張ってください。

【3年目】

- 授業や実習ではあまり扱わなかった手術看護の分野で働いていますが、佐久大学で学修方法の確立が出来たことで、未知の分野でも楽しく学んで働くことが出来ています。感謝しています。
- 技術や知識はあとからでも身につくので、今の学生の時間を思う存分楽しんでください！
- 勉強や実習は大変だとは思いますが、社会に出てから必ず役に立ちます。社会に出てからも大変なこと沢山ありますが学生時代に頑張ってきたことが自分の自信に繋がるので、お身体大事にして勉強に励んでください。応援しています。
- 実習等大変だと思いますが頑張ってください
- 佐久大学で4年間学んできたことは、臨床でも役に立つことが多く、自分の基礎になっていると感じます。実習に来ている先生や後輩の姿を見かけることがあります。懐かしい気持ちもあり、頑張りたいと思います。3年目でまだまだ学ぶことがたくさんあるので、頑張っていきたいと思います。
- 仕事をするようになってから、学生時代にもっと勉強しておけば良かったとよく感じています。佐久大生の学生の皆さん、学生生活を楽しみながら勉強頑張ってください！
- 勉強や実習など大変なことも多いと思いますが、頑張ってください。応援しています。

【5年目】

- インフルエンザやコロナウイルス、様々な感染症が流行している時期ではありますが、学生のうちに様々な臨床での体験をして欲しいと思います。
- 今は忘れてしまっていることも多いと思いますが、大学生の時に学んだ学修方法や使うべきインターネットサイトも大いに役立っております。今になって思うのは、地域看護がとてつもなく大事であることを痛感しています。もっと濃いめに学びたかったなと思いました。
- 私はコロナ禍で十分な実習や就活、友達との時間を過ごせなかったことがあります。佐久大を卒業できてよかったと思っています。たくさんの方と関わり充実した学生生活を送ってください。
- 頑張ってください
- 講義や演習、実習での学びで活かせることが多くありました。
- 頑張ってください！

- 学生時代に看護師としての知識の基礎を固めることができ、それを使って日々看護をすることかできています。ありがとうございました。
- 学生時代の勉強や実習での経験が臨床に出てくるととても生きてくるので頑張ってください。仕事が始まるとなかなか長期で休みが取れず旅行とかは厳しいので、学生時代に友人とたくさん思い出を作ってください。
- 学生時代の勉強、実習は大変なことが多いと思います。毎日お疲れ様です。臨床に出ると色々患者様との出会いがあり、患者様から学ぶこともあります。臨床の楽しさもあるので、ぜひ頑張ってください！
- 勉強や実習は大変だと思いますが、自分の目指す看護観を大切に頑張ってください。臨床でお待ちしております。

2. 看護管理職の結果

設問：佐久大学卒業生に関しての全体的な印象、お気づきの点、佐久大学に期待すること等、忌憚のないご意見をお聞かせください。（自由記述）

- どちらかというと、受け身な印象があります。自ら発言し行動するというより、コツコツ取り組む印象があります。自分の意見をもう少し積極的に発言できるといいかと思います。
- 積極的に学ぼうとする姿勢を感じます。新たな看護を目指し5年以内で退職される方が半数いる。
- 当院はお一人のみの採用となります。おとなしめな方ですが、部署異動の希望を自ら申し出ることができ、自律していると感じました。

3. まとめ、教育活動改善への課題

1) 全体概況

57/129名の回答が得られ、過去2年分と比較して回収率（37.5→41.5→44.2%）が増加傾向にある。うち1年目卒業生は14/35名（40.0%）、3年目は17/44名（38.6%）、5年目は26/50名（52.0%）と、5年目卒業生の回収率が高かった。

管理者への配布数は10件、回収数は3件であった。件数が少ないため、回収率の年度ごとの変動（33.3→81.8%→30.0%）は大きい。

5年目卒業生からの回収率が高いことは、大学へのコミットメントの高さと考えられる。貴重なフィードバックと受け止め、今後の教育活動改善へつなげる努力を続ける。

2) 卒業生への調査結果から

(1) 学生時代の学びで役に立っていること

学生時代に学修方法が身についた者は52名（91.2%）、コミュニケーション力が身についた者は51名（89.4%）であった。また、身についたと回答した者のうち、現在「とても役に立つ」「少し役に立つ」と肯定的に評価していたのが9割であった。学修方法が「と

でも役に立つ」とした方は 12/52 名 (23.1%) で、コミュニケーション力が「とても役に立つ」とした方は 23/51 (45.1%) であった。

コミュニケーション力よりも、学修方法の方で「とても役に立つ」と評価した者が少ない。この理由として、臨地における学修は、課題発見やキーワード探しの複雑性、知見の応用など難易度が高く、交代勤務のなかで学ぶ大変さもあるためかと考えられる。卒業後の複雑で困難な状況でも学修を続けられるように、卒業後への動機づけが必要かもしれない。

(2)その他に卒業後に役に立ったこと (自由記述)

科目関係では、実習 (学修方法、アセスメントのしかた、観察方法、看護技術、社会人としてのマナー等)、演習 (実技演習、技術演習、観察項目の洗い出し、観察方法等)、看護研究 (論文の探し方、論文の読み方、看護研究等)、レポート作成 (サマリー作成時に文章が簡潔でわかりやすいと言われる)、形態機能学・疾患の学修、が挙げられた。

対人関係として、人との関わり (友人、仲間、グループワーク、サークル活動、学友会、大学祭実行委員会、教員やバイト先など上下関係等)、アルバイト (コミュニケーション力、精神的に鍛えられた、仕事の効率 UP 等) が挙げられた。

科目履修や対人関係の構築は容易ではなく苦労も多いが、様々な体験が将来にどのようなつながるか具体的に伝えることが、在学生の学びへつなげられると考える。

(3) 学生生活の満足度

とても満足 20/57 名 (35.1%)、少し満足 34/57 名 (59.6%) で、「満足」が 94.7% であった。

(4)佐久大学へのメッセージ

自由記述で「大学へのメッセージ」を求めたが、「在学生へのメッセージ」が数多く記載された。後輩への貴重なメッセージとして取りまとめて PDF にし、A-portal 掲示板に掲載し、9 月オープンキャンパスでポスターとして掲示した。

大学へのメッセージとしては、佐久大学を卒業できてよかったとの 4 年間の感謝、今後も地元に貢献する看護師を輩出することへの期待等が挙げられた。

次年度は、「佐久大学の教育活動へのメッセージ」と「在学生へのメッセージ」と分けて質問したほうがよいかもしれない。

3) 管理者への調査結果から

回収 3 件 (回収率 30%) であり、内容は、佐久大学卒業生全体に関する内容と、特定の卒業生に関する内容と混在していた。積極的に学ぶ姿勢・希望を言える・自律した印象・コツコツ取り組む、とする内容が見られた。一方で、受け身・おとなしい・積極的に発言してほしい、という内容も見られた。

回答いただけただけでもありがたいが、答えやすいような質問の工夫が必要か。

以上